社会資本総合整備計画　事後評価書（中間評価書）

平成25年12月5日

計画の名称	1　藤枝型エコ・コンパクトシティ構築計画（街なか居住環境再生）		
計画の期間	平成22年度　～　平成26年度　（5年間）	交付対象	藤枝市

計画の目標

『少子高齢社会、低炭素社会に対応・貢献し、安全・安心に集い・住まい・交流するまちの実現』

計画の成果目標（定量的指標）

・藤枝市の中心市街地における歩行者通行量を5,509人（H21）から8,500人（H26）に増加させる
・藤枝市の中心市街地における公共施設利用者数を685,666人（H20）から1,000,000人（H26）に増加させる

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（当初）	中間目標値	最終目標値（H26末）	備考
① 中心市街地内の4地点（駅北2地点、駅南2地点）の休日1日あたり(12時間)の歩行者通行量を測定する	5,509人(H21)		8,500人	
② 中心市街地内の公共施設5施設（藤枝市文化センター、藤枝市民体育館、藤枝市武道館、静岡県武道館、藤枝市立駅南図書館）の年間利用者数を調査する	685,666人(H20)		1,000,000人	

全体事業費	合計（A＋B＋C）	2,127百万円	A	1,706百万円	B		C	421百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	19.79%

事　後　評　価　（中　間　評　価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制

・「中心市街地の活性化を図るための基本的な方針（H18.9.8閣議決定）」に基づき、認定中心市街地活性化基本計画フォローアップにて実施。フォローアップ結果は、内閣総理大臣に報告し、政府より公表。
・中心市街地の活性化に関する法律に基づく中心市街地活性化協議会や庁内組織である中心市街地活性化推進委員会にて評価。

事後評価（中間評価）の実施時期

・平成26年6月（事後評価予定）、平成25年6月（今回の評価時期）

公表の方法

・内閣府ホームページにて公表

1．交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A　基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容・規模等	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	H26	全体事業費（百万円）	備考
1-A1-1	住宅	一般	藤枝市	直/間	市/組合	藤枝駅北口・日の出町地区基本計画等策定等事業	計画コーディネート	―	―				47	
1-A1-2	住宅	一般	藤枝市	間接	組合	藤枝駅前一丁目８街区基本計画等策定等事業	計画コーディネート			―			3	
1-A1-3	住宅	一般	藤枝市	間接	組合	藤枝駅前一丁目８街区市街地再開発事業	敷地の共同化・1.2ha			―	―	―	1,071	
1-A2-1	住宅	一般	藤枝市	直/間	市/組合	藤枝駅前一丁目６街区基本計画等策定等事業	計画コーディネート	―		―	―		35	
1-A2-2	住宅	一般	藤枝市	間接	組合	藤枝駅前一丁目６街区市街地再開発事業	敷地の共同化・0.42ha				―	―	550	
										合計			1,706	

B　関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	H26	全体事業費（百万円）	備考
												合計				

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	H26	全体事業費（百万円）	備考
1-C-1	住宅	一般	藤枝市	直接	藤枝市	－	住環境再生まちづくり推進事業	重点地区啓発、駅前地区総合再生会議等	藤枝市		―	―			7	
1-C-2	住宅	一般	藤枝市	直接	藤枝市	－	エコ・コンパクトシティ構想策定業務	構想案の企画立案及び調整等	藤枝市			―			6	
1-C-3	住宅	一般	藤枝市	直接	藤枝市	－	藤枝駅前地区総合マネジメント事業	ｴﾘｱﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄの推進及び啓発・ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ等	藤枝市				―	―	6	
1-C-4	住宅	一般	藤枝市	直接	藤枝市	－	中心市街地タウンプロモーション事業	情報発信及び道路空間活用事業	藤枝市				―	―	30	
1-C-5	住宅	一般	藤枝市	直接	藤枝市	－	駅北事業用地有効活用事業	再開発への公益施設整備のための土地取得	藤枝市				―		372	
												合計			421	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	市街地総合再生計画に位置づける重点地区のまちづくり啓発・研究や各地区関係者による総合再生マネジメントを行い、安心に生活できる居住環境の改善や環境(エコ)に貢献するまちづくりを推進する。	
1-C-2	認定中心市街地区域での「エコ・コンパクトシティ」実現のため、中心市街地活性化協議会と伴に構想の企画立案及び調整等を行なうことにより環境（エコ）に貢献するまちづくりを推進する。	
1-C-3	市街地総合再生計画に位置づける重点地区のまちづくり啓発・研究や駅前地区全体のエリアマネジメントを推進し、高品質な都市環境と都市ｻｰﾋﾞｽが提供されるまちづくりを推進する。	
1-C-4	広域的なまちの情報発信と市民活動・交流の場の創出による志太榛原地域の生活都心としての定住人口・来訪人口の増加。	
1-C-5	藤枝駅前一丁目8街区市街地再開発事業と一体的に公益サービス機能を整備し快適な生活環境づくりを推進する。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

２．事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	・基幹事業の市街地再開発事業が完了していないが、効果促進事業等により恒常的に歩行者が増加し、回遊性やにぎわいが向上した。 ・基幹事業の市街地再開発事業が完了していないが、効果促進事業と各施設の連携した取り組み等により利用者数が増加し、活動・交流の活性化や賑わいが創出された。

Ⅱ定量的指標の達成状況					
	指標①（歩行者通行量）	最終目標値	８，５００人	目標値と実績値に差が出た要因	効果促進事業のほか、中心市街地活性化基本計画における活性化事業（特に駅南地区の事業）が進んだため。
		最終実績値	８，５４４人 （平成２４年度）		
	指標②（公共施設の利用者数）	最終目標値	１，０００，０００人	目標値と実績値に差が出た要因	効果促進事業のほか、中心市街地活性化基本計画における活性化事業（特に各施設におけるハード・ソフト面の取り組み）が進んだため。 （※）最終実績値については、平成２４年度が市民体育館が耐震工事により約６ヶ月間使用できなかったため、平成２３年度とした。なお、使用できなかった期間をその前年度同時期の数値を参考に加算した場合、1,002,633人となり最終目標値の達成が想定される。
		最終実績値	１，００４，３９８人 （平成２３年度（※））		
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			

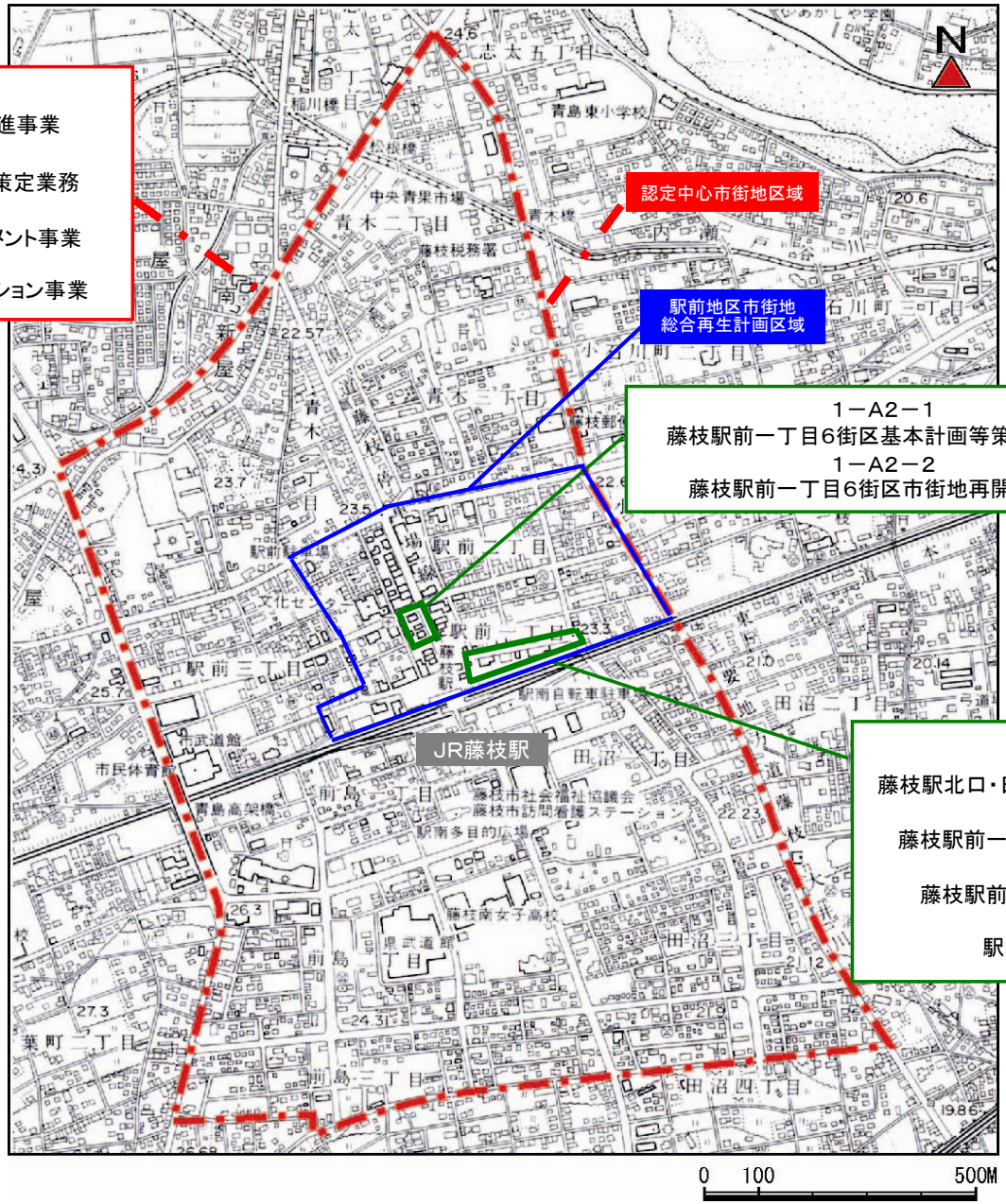
Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	・効果促進事業のほか、中心市街地活性化基本計画の事業により、中心市街地における人口や滞在時間が大幅に増加。

３．特記事項（今後の方針等）

・基幹事業の市街地再開発事業が、地権者の合意形成等に時間を要し完了していないため、次期計画に改めて位置づけ第２期中心市街地活性化基本計画に合わせた新たな目標の達成を目指す。

（参考様式３）　　（参考図面）地域住宅支援

計画の名称	1　藤枝型エコ・コンパクトシティ構築計画（街なか居住環境再生）		
計画の期間	平成22年度　～　平成26年度　（5年間）	交付対象	藤枝市



１－Ｃ－１
住環境再生まちづくり推進事業
１－Ｃ－２
エコ･コンパクトシティ構想策定業務
１－Ｃ－３
藤枝駅前地区総合マネジメント事業
１－Ｃ－４
中心市街地タウンプロモーション事業

１－Ａ２－１
藤枝駅前一丁目６街区基本計画等策定等事業
１－Ａ２－２
藤枝駅前一丁目６街区市街地再開発事業

１－Ａ１－１
藤枝駅北口･日の出町地区基本計画等策定等事業
１－Ａ１－２
藤枝駅前一丁目８街区基本計画等策定等事業
１－Ａ１－３
藤枝駅前一丁目８街区市街地再開発事業
１－Ｃ－５
駅北事業用地有効活用事業